

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》

●研究の名称

Follicular Lymphoma with unusual cytological features に対する治療成績の後方視的観察研究

●研究の対象

2016年1月1日から2026年1月1日に京都第二赤十字病院血液内科において、濾胞性リンパ腫 grade1～3a(WHO分類第4版に準拠)と濾胞性リンパ腫 with unusual cytological features(WHO分類第5版に準拠)と診断された患者さんを対象とします。

●研究の目的

WHO分類第5版より濾胞性リンパ腫 with unusual cytological features という濾胞性リンパ腫の新しい分類が提唱されました。濾胞性リンパ腫 with unusual cytological features は、従来の年単位でゆっくり進行する濾胞性リンパ腫 grade1～3a と比較し、急速に進行するなど異なる性質を持ち、また治療に対する反応性も異なることが推測されています。しかし新しく分類された概念であり症例の蓄積が少ないことから、その特性やオビヌツズマブ+ベンダムスチン療法などの従来の濾胞性リンパ腫 grade1～3a に対する標準治療への反応性や予後などは不明です。

そこで当院で濾胞性リンパ腫 grade1～3a または濾胞性リンパ腫 with unusual cytological features と診断され、標準治療が実施された患者さんの治療効果について検討することとしました。

●研究の期間

研究機関の長の実施許可日から2026年10月31日まで

●研究の方法

日常診療時に得られる下記の《利用する試料・情報の項目》について調査します。

《利用する試料・情報の項目》

●試料：なし

●情報：年齢、性別、PS、Stage、骨髄浸潤、B症状、GELF基準、FLIPI/FLIPI2、節外病変、bulky mass、治療内容などの臨床情報

なお、利用する上記の試料・情報からはお名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報 は削除します。

《利用を開始する予定日》

研究機関の長の実施許可日

《利用する者の範囲》

●研究機関名および研究責任者名

京都第二赤十字病院 血液内科 医師 吉田 佳世

《試料・情報の管理について責任を有する機関の名称》

京都第二赤十字病院

《試料・情報の利用の停止（受付方法含む）》

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料・情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、以下の《問い合わせ先》にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、解析が完了している、結果が論文などで公表されているなどの理由であなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

《問い合わせ先》

研究機関：京都第二赤十字病院

担当者：血液内科 医師 吉田 佳世

住所：〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 番地の 5

TEL：075-231-5171（代表）